教職課程関連　ND教育センターでは、教職課程に関するサポートを行っています。

進路サポート

教員採用試験に関するガイダンス・説明会や対策講座を実施しています。主な対象は3年次生ですが2年次生にも参加を呼びかけています。

主なイベント実績

●京都市教員採用試験説明会（京都市教育委員会）
日　　時：4月26日（水）16:40～17:40
参加学生数：13名（4年次：3名　3年次：10名）

日　　時：11月22日（水）16:40～17:40
参加学生数：5名（3年次：5名）

受講生の声　京都市として、どんな教師を求めているのかや、働くための条件など詳しく学べてよかったです。どんな教師を目指せば良いのかがハッキリしていなかったので、これを機に京都市の小学校で求められている教師像を目指して努力していきたいと思いました。

●京都府教員採用試験説明会（京都府教育委員会）
日　　時：5月9日（火）16:40～17:40
参加学生数：8名（4年次：3名　3年次：5名）

日　　時：11月29日（水）16:40～17:40
参加学生数：2名（3年次：2名）

受講生の声　詳しい採用情報を聞けて良かったです。受験するのは来年度ですが、早めに対策を練ることや教師になるということを見越して、授業や課外活動などに取り組んでいきたいと思いました。

●京都教師塾説明会（京都市教育委員会）
日　　時：6月21日（水）16:40～17:40
参加学生数：2名（3年次：2名）

受講生の声　教師塾について詳しく知れたとともに、京都市の教員の在り方について知れたので、とてもいい情報を得ることができました。教員として、学習面だけでなく道徳性や社会性などの多角的面でもこの教師塾を通して成長出来たらいいなと思いました。

●滋賀の教師塾説明会（滋賀県教育委員会）
日　　時：7月5日（水）16:40～17:40
参加学生数：2名（3年次：2名）

受講生の声　滋賀県の必要としている人材や、教師塾でどんな知識を蓄えられるのかをよく知れたので良かった。教師塾での活動や先輩方の頑張っておられた姿を聞いて、私も是非教師塾に入って同じ志を持つ仲間に出会い、刺激を貰いたいと思った。

●滋賀県教員採用試験説明会（滋賀県教育委員会）
日　　時：12月6日（水）16:40～17:40
参加学生数：5名（2年次：3名　3年次：2名）

受講生の声　実際の採用試験の内容であったり、対策内容であったりと物凄く役に立つ内容ばかりで今回受けて良かったです。今後、教師になるに向けてどのような対策をしたらいいのか、どのように大学で授業を受けていくべきなのか、沢山考えることが出来たため良かったです。

●教員採用試験対策全国公開模擬試験（東京アカデミー）
スタート模試
日　　時：11月4日（土）
受 験 者 数：5名（3年次：5名）
第1回公開模試
日　　時：1月20日（土）
受 験 者 数：7名（3年次：6名　4年次：1名）
第2回公開模試
日　　時：3月8日（金）
受 験 者 数：7名（2年次生：1名　3年次：6名）
第3回公開模試（2024年度）
日　　時：4月6日（土）
受 験 者 数：6名（3年次生：1名　4年次：5名）

編集後記　ND教育センター副センター長より

2023年度はND教育センターにとって、大いなる飛躍を遂げる一年だったと思います。春の3回シリーズの「生成系AIに関する学内研修会」の実施（本文参照）に始まり、学部学科横断型「情報活用力プログラム」が文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎レベル）」認定のニュース（2023年8月認定）など、数々の快挙が浮かびます。このような飛躍の背景には、2023年度からND教育センターに加わったメンバーを含む、センター員（教職員の方々）の存在が大いに関係しています。一緒に働く人々に恵まれるということは、なんと心強いことか‥と実感する日々が今なお続いています。2024年度のND教育センターにもどうぞご期待ください。

副センター長 吉田智子

NDEC Kyoto Notre Dame University Education Center　ND教育センター

オリジナルサイトはこちらから

HP

E-mail：vsadmin@ml.notredame.ac.jp　TEL：075-706-3728

ND教育センター　https://www.notredame.ac.jp/ndec/

2023年度 ND教育センター活動報告

2024年5月1日発行

ごあいさつ

ND教育センター長　神月 紀輔

2023年度もND教育センターの諸活動にご協力を賜りありがとうございました。

本年度も学生の自己実現のために「対話」を基盤においたセンターでの活動を行い、いろいろな成果や学生の笑顔が見れました。

共通教育では、外国語教育を充実させることができ、多くの言語に触れる機会ができました。また、海外研修に行く学生も増えており、積極的な学生の学びが見えます。

MDASH（数理・データサイエンス・AI教育プログラム）も8月にこれまでのリテラシーレベルから1ランク上がった応用基礎レベルの認定を全学で受け文系女子大学としてはさらに進んだAIデータサイエンスの教育ができるようになりました。

教職課程のサポートも少しずつですが充実してきており、公私立の小中高等学校への就職や、教職大学院への進学も数を増やしてきています。また、課程を設置して初めて特別支援学校の教員を正採用で輩出することもできました。

各種アドバイジングの参加者もおり、今後とも学生の学びに寄り添ったサポートをしてまいります。

詳しい活動は本年報にまとめておりますので、ご覧いただき2024年度もご指導ご鞭撻をいただけましたら幸いです。

2024年5月1日

DX推進チーム　「分析ツールQlik Sense 勉強会」を実施（オンライン）

GAKUENやmanabaその他の教学に関わるさまざまなデータを活用して分析し、教育の高度化に生かす活動「NDDEEP（Notre Dame Data-driven Education Enhancement Project）」を西日本電信電話株式会社と共同で進めています。データ分析ツール「Qlik Sense」を用いて、どのように可視化・分析を行い活用していくのかなどを考える勉強会を定期的に開催しています。

国家資格の「ITパスポート試験」ガイダンスを実施　「情報処理技術者試験の内容と企業の活用について」

情報処理技術者試験の実施団体である、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）より講師を迎え、ITパスポート試験を中心とした情報系の国家資格が社会で必要とされている背景や試験内容のガイダンスを実施しました。

日　時：2023年4月12日（水）14:10～14:40
14:55～15:25（「情報処理B」受講生用）
16:35～17:05
講　師：独立行政法人情報処理機構（IPA）IT人材育成センター
国家資格・試験部　笠井優一 氏

学内研修会 「生成系AI（Chat GPT等）に関する研修会 ―生成系AI（Chat GPT等）にどう向き合うか? 今後の学生の学びについて―」（シリーズ全3回）

昨今、生成系AIの利用やその賛否について、議論が活発になっております。このたび、学生および教職員が共に考えていく機会を持ちたいと考え、教務委員会、FD委員会との共催で下記の研修会を実施しました。

・「シリーズ① 生成系AIとは何か?
―大学人として押さえておきたいポイント解説―」
日　時：5月17日（水）16:35～17:25
講　師：北村美穂子 特任教授
参加者数：86名（専任教員42名・非常勤教員3名、職員・法人等32名、学生9名）

・「シリーズ② 生成系AIの教育への活用と課題：ユネスコ『高等教育におけるChatGPT利用のクイックスタートガイド』から」
日　時：6月14日（水）15:00～16:30
講　師：鎌田均 准教授、北村美穂子 特任教授
参加者数：50名（専任教員27名、非常勤3名、職員・法人等17名、学生3名）

・「シリーズ③ 生成系AIを『本学の教育で』どう活用するか」
日　時：7月5日（水）16:40～17:30
講　師：神月紀輔 教授
参加者数：72名（専任教員42名・非常勤教員2名・職員・法人等24名・学生4名）

数理・データサイエンス・AI教育の高大連携授業公開 「AIとデータサイエンス超入門～身近なデータで体感してみよう～」を実施

ノートルダム女学院高等学校プレップ総合コース2年生の連携授業「みらいデザイン☆ハイスクール」の一環として、身近なデータを使ってAIやデータサイエンスを体感しました。AIはチョコレート菓子「きのこの山」と「たけのこの里」を正しく判別できるでしょうか？文字データを視覚化したワードクラウドはどのように作られているのでしょう？各自のスマートフォンで実際に手を動かしながら、そのしくみを学ぶことによって、楽しくAIやデータサイエンスの基礎を学びました。この授業は、数理・データサイエンス・AI教育強化コンソーシアム参加校にも公開しました。

日　時：2月16日（金）14:00～15:30
参加者：生徒約50名、他大学教職員3名

学習アドバイジング

・文章作成の基礎づくり
希望者を対象にセンターが提供する文章作成に関する課題に取り組むことにより、苦手意識を克服し、段階的に基礎を身につけていく学習サポート「文章作成の基礎づくり」をmanabaで行いました。（参加者54名）

課題1. レポートにふさわしい文体ー「である」体を使うー
課題2. 文語を使う - 1 -
課題3. 品詞をそろえる
課題4. 文語を使う - 2 -
課題5. 句読点の使い方
課題6. 括弧（かっこ）の使い方
課題7. 長文に注意ーねじれ文・違和感のある文ー
課題8. 主語と述語を合わせる（ねじれ文・単文バージョン）
課題9.全角・半角・数字の表記
課題10.引用・参考は慎重に

・文章作成の基礎に関する相談
対面による相談をND教育センター事務室で実施しています。

ノートルダム女学院高等学校との連携授業

ノートルダム女学院高等学校プレップ総合コースの生徒を対象に、連携プログラムを実施しています。2023年度は、以下のとおり実施しました。

・高校1年生対象
5月30日（火）14:00～15:30
自己探求としての「リフレーミング」（高井直美特任教授）

10月3日（火）13:45～14:45、15:00～16:00
専門領域への理解を深める（小山哲春教授・岩崎れい教授・北村美穂子特任教授・大風薫准教授・大川淳准教授・太田容次准教授・矢島雅子准教授・蜂矢真弓講師・中藤信哉講師）

1月30日（火）14:00～15:30
女性の生き方とキャリアを考える①（青木加奈子准教授）

・高校2年生対象
9月8日（金）14:00～15:30
女性の生き方とキャリアを考える② （平野美保教授）

11月18日（土）14:30～17:30
みらいデザイン☆ハイスクール
（企画・運営：濱中倫秀准教授・キャリア形成ゼミ受講生）

2月16日（金）14:00～15:30
みらいデザイン☆ハイスクール
（北村美穂子特任教授　Wolfram Research, Inc. ・金光安芸子講師）

入学前教育実施報告

高校での学びから大学での学びへスムーズに移行できるよう、おもに早期入学予定者を対象に入学前教育・講座を実施しました。

・入学前学科課題
入学予定の学科について、さらに関心を高めるため、学科ごとに設定された課題に取り組み学科教員と書簡でのやりとりを行いました。

対象入試：ノートルダム女学院高等学校内部進学推薦、指定校推薦、学校推薦Ⅰ・Ⅱ期、総合型Ⅰ・Ⅱ期・Ⅲ期・連携校対象、外国人留学生
提 出 率：92.4%（対象者158名、提出者146名）

・スクーリング（2024年2月19日（月）・20日（火）実施）
ノートルダム女学院高等学校及び高大連携校13校からの早期入学予定者を対象とし、入学前に大学の授業を体験することで不安を解消するとともに大学で学ぶことの意味を考え、入学後の授業理解に役立てる講座を実施しました。

対象入試：ノートルダム女学院高等学校内部進学推薦、指定校推薦、学校推薦Ⅰ・Ⅱ期、総合型Ⅰ・Ⅱ期・Ⅲ期・連携校対象
参 加 率：74.5%（対象者51名、参加者38名）連携校以外からも10名参加

19日（月）
・10:30～11:00　学長講話　京都ノートルダム女子大学で学ぶこと
・11:15～12:15　京都ノートルダム女子大学について
・13:10～14:40　大学での学び方・新入生のためのカリキュラム講座
・14:55～16:25　Enjoy English
・16:30～17:10　キャンパスツアー
・10:30～11:30　保護者向け説明会：自律・自立のためのサポート

20日（火）
・10:00～12:00　卒業研究発表会
・13:10～14:40　これからのキャリアデザイン入門
・14:55～16:25　大学生のためのノート・レポートの書き方、図書館の活用法
・16:25～16:40　修了式

受講生の声（アンケートより）
・女子大だからこその特徴を生かして大学生活をおくろうと思えたし、想像ができたので良かった。
・先生方に顔と名前をすぐ憶えていただけると聞いて小規模の学校は良いなと思った。
・卒業研究はとてもかたい印象をもっていたけれど、話をきいて楽しそうという印象もつきました。

・入学前準備基礎講座（東進ハイスクール（ナガセ）提供通信講座）
希望者を対象に、業者が提供する通信講座（受講者負担「キャリアに役立つ数学力」「数学的思考力入門」「国語標準（要約編）」「使える基礎英語」「TOEIC標準講座（600点突破）」）を推奨しています。

対象入試：ノートルダム女学院高等学校内部進学推薦、指定校推薦、学校推薦Ⅰ・Ⅱ期、総合型Ⅰ・Ⅱ期・Ⅲ期・Ⅳ期・連携校対象、一般Ⅰ期、大学入学共通テスト利用Ⅰ期、外国人留学生
受 講 率：5.2%（対象者174名、受講者9名）

ノートルダム女学院高等学校および高大連携校対象 特別科目等履修「文章作成法Ⅰ」

特別科目等履修生として本学正規科目「文章作成法Ⅰ」を受講するプログラムです。履修し合格した者に「特別科目等履修生単位修得証明書」が交付され、本学に入学後の申請により「文章作成法Ⅰ」（1単位）が認定されました。

時間割（担当：神月紀輔 教授）
第1回：3月4日（月）10:45～12:15
第2回：3月4日（月）13:10～14:40
第3回：3月4日（月）14:55～15:40
第4回：3月5日（火）10:45～12:15
第5回：3月5日（火）13:10～14:40
第6回：3月5日（火）14:55～15:40
第7回：3月6日（水）10:45～12:15
第8回：3月6日（水）13:10～13:55

学部横断プログラム関連

・情報活用力プログラム
情報社会において必要な情報科学の知識・技能を身につけるとともに、それらが社会に与える影響を理解した上で、新たな情報を作り出し、課題を発見し、その解決に向けて主体的に解決策を検討し、実践できる人材の養成を目的としました。
本プログラムの基礎基幹科目群から必修8単位・選択必修8単位の合計16単位以上修得した学生には、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」（通称　MDASH）にも認定されている「情報活用力プログラム（基礎）」の修了証が授与されました。

修了者数（基礎）：32名

・日本語教員養成課程
日本語教員とは、外国人の留学生や労働者、またその家族など、日本語を母語としない学習者に日本語を教える教員のことです。所定の単位を修得後、学長名の「日本語教員養成課程修了証」を卒業時に交付しました。

修了者数：12名